

# 病院と消防

市民の皆様の関心の高いテーマに絞って総合病院、消防本部にスポットを当てました。現状の問題点、現場の苦労話、将来への展望などの報告を受けましたので、掲載いたします。

市民の皆様へ  
理解を求めて

宍粟市消防本部

宍粟市消防本部の管轄する面積は658・60平方kmと、兵庫県下第3位の広大な面積を有しており、平成18年では火災が36件・救助35件・救急において1,820件の出動をしております。しかし、現在の職員数は消防車・救急車等の現有車両数からすると警備人員が不足しているため、車両の乗り換え運用等により総員71名の職員が日



人工呼吸の講習会

夜消防業務に取り組んでいます。

特に救急現場では全国的な医師不足の影響による救急受け入れ病院や診療科目が不足し、姫路・神戸・阪神地区、さらには県外への搬送や2次救急出動の増加に加え、昨年の救急搬送件数の約40%が軽度な救急であることから、本日に救急車を必要とする人々の「生命を助けるため」市民の皆さん一人ひとりが、いま一度「救急車の利用」についての正しい認識を心がけていただきますよう、広くPRを図っております。

また、昨年導入しました高機能指令台の運用に伴う初動体制の確立により、より早く・より正確に火災や救急などの災害現場を特定することが可能となり、災害現場到着時間の短縮により被害の軽減を図るとともに、山崎断面層を起因とする地震の危険性が危惧されるなか、「自分たちの地域は自分たちで守る」ために市内各地域の自主防災組織

の育成強化を推進しています。

そういった状況のなか、兵庫県においては「消防広域化検討委員会」が設置され、消防広域再編化に向けて具体的な検討が進められており、地域の人々が安全で安心して暮らせるまちづくりの実現のため、財源の確保と適正な人員・車両等の配備により、複雑多岐で大規模化する各種災害への対応が図れるよう努めています。

なお、消防についてより理解を深めて頂きますようホームページを設けておりますので、よろしく願いたします。



水難救助訓練